

立命館経済學

第 41 卷 第 1 号

1992 年 4 月

内 容

論 説

初期マルクスの自然価格・市場価格論……………岡 崎 栄 松 1
——「スミス抜粋第一ノート」を中心として——

コース／ウィリアムソン型企业組織モデルの検討……………坂 本 和 一 23
——The Theory of the Firm から The Theory of the Enterprise へ——

アフリカ・ラテンアメリカの債務問題調整下の
経済成長の可能性について……………本 田 豊 64

研 究

日本半導体製造装置産業の分析……………肥 塚 浩 116

学位論文審査報告

関弥三郎「寄与度・寄与率の理論と応用」…………… 143

田坂敏雄「タイ農民層分解の研究」…………… 148

松川周二「ケインズの経済学——その形成と展開——」…………… 154

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立 命 館 経 済 学 第40巻・第5号

論 説

- 現代世界経済と先進資本主義諸国経済関係……………岩 田 勝 雄
 LSI時代のコンピュータ産業……………坂 本 和 一
 ——世界コンピュータ産業史（Ⅲ：1970年代）——
 ケムニッツの労働者運動とドイツ機械製造工
 カンパニー（1863—67年）（上）……………山 井 敏 章
 ——1860年代ドイツの労働者運動と生産協同組合(2)——

研 究

- 初期マルクスにおける論理と歴史……………山 田 祥 夫
 ——貨幣把握の特殊性とかかわって——
 79～87年 I-O 表による中国価格体系の実証分析……………李 潔
 地域的不均等発展論の系譜と問題点……………泉 俊 弘

発行所 立命館大学経済学会

立 命 館 経 済 学 第40巻・第6号

論 説

- 電機産業における競争形態の研究(その1)……………田 中 宏 道
 ——電機産業研究の現状——
 労働と人間（Ⅱ）……………高 木 彰
 ——マルクス『経済学・哲学草稿』（1844年）の検討を中心に——
 現代イギリス地域政策の段階と特質(3)……………若 林 洋 夫
 ケムニッツの労働者運動とドイツ機械製造工
 カンパニー（1863—67年）（下）……………山 井 敏 章
 ——1860年代ドイツの労働者運動と生産協同組合(3)——

研 究

- 恐慌にいたる資本の諸契機について……………増 田 和 夫
 ——利潤率低下法則の内的諸能因——
 光ファイバ市場における日本企業の競争戦略……………鄭 致 福
 ——光産業形成史Ⅱ——

共同研究室

本年度会員業績・総目次

発行所 立命館大学経済学会